

ITソリューション塾 [第30期] 講義内容

講義時間 毎週 18:30~20:30 初回2019年2月7日(木)~最終回4月24日(水) 全10回+特別補講
 ITトレンドの常識 (@90分~@120分) 会場 株式会社アシスト 本社・市ヶ谷 1階セミナールーム

***オンラインでもご参加頂けます。**「残業で移動時間がとれない」や「出張先から参加したい」などの場合にも、PCやスマートフォンから受講頂けます。

月	日	曜	テーマ	概要
2	7	木	ビジネスの本質を転換する デジタル・トランスフォーメーション	いまのITトレンドを俯瞰するキーワードは、デジタル・トランスフォーメーションとサイバー・フィジカル・システム(CPS)です。それが何か、社会やビジネスに与える変化や影響などを整理します。
	13	水	クラウドソフトウェア化するインフラ	「SDI:ITインフラの全ての資源をソフトウェアの設定だけで調達、変更できる技術基盤」がITインフラの常識を変えようとしています。クラウドとの関係を踏まえながら、その意義と仕組みを学びます。
	20	水	IoT (モノのインターネット)	IoTはテクノロジーではなくビジネス・フレームワークです。そんな視点から、IoTとは何か、どのようにビジネスに結びつけばいいのかを考えます。
	27	水	AI (人工知能)	人間を支配する、仕事が奪われるとの危機感を煽る言葉もありますが、現実を直視すれば、その役割や価値が見えてきます。その可能性と限界、ビジネスへの適用を考えます。
3	6	水	おさえておきたい注目のテクノロジー	ブロックチェーンや量子コンピューティング、第5世代通信など、社会やビジネスの常識を大きく変えてしまうかもしれないテクノロジーが登場しています。その仕組みと影響について解説します。
	13	水	データベースとストレージ	RDBとHDDが前提の時代は終わりました。NoSQL、フラッシュストレージ、インメモリーなどの動向はデータベースの機能や役割、運用にも大きな変化をもたらしつつあります。その最新事情を整理します。
	20	水	これからのアプリケーション開発と運用	不確実性の高まり、ビジネス・スピードの加速、ITとビジネスとの一体化、もはや旧態依然とした開発や運用ではやってはいけません。いま求められる開発や運用、それを支えるテクノロジーについて解説します。
4	3	水	特別講師・デジタル・トランスフォーメーションと実践ノウハウ	デジタル・トランスフォーメーションは待ったなしの状況です。これにどのように向きあえばいいのか、自分たちのビジネスをどのように変革すべきかを、その実践に取り組む講師から伺います。
	10	水	特別講師・セキュリティの基礎と本質	セキュリティ対策とは情報資産を守るものではありません。マイクロソフトのCSOでありセキュリティ・コンサルタントでもある講師から、経営や業務の視点からその本質や基礎について学びます。
	17	水	総括・これからのITビジネス戦略	システム・インテグレーション崩壊の時代を迎え、ポストSIを見据えたビジネスを模索しなければ生き残ることはできません。いま何が起きているのか、これからどうすればいいのかを考えます。
	24	水	特別補講	時々の話題や皆さんの関心の高いテーマで、特別補講を行います。 過去の事例:IoTセキュリティの実践、営業活動プロセスの実践ノウハウ、エンジニアの幸せな働き方等

* 講義のテーマが変更または移動となる場合がありますので、ご了承ください。3月の最終週は年度末の繁忙期に重なるため休講とさせていただきます。

ソリューション営業スキル (@30分)

以下の内からいくつかを選択して話をさせていただきます。

	テーマ	概要
期間中に 実施 いたします	顧客”満足”の科学	お客様の満足は「仕事を誠実にこなささえすれば高められる」というものではありません。お客様の期待をうまく管理しなければ、せっかくの努力も報われません。その技術を学びます。
	説得の科学	説得とは、お客様の意識や行動をこちらの意図するものに変え、それを自分の意志による判断と意識させることです。説得を物理学(力学)の法則になぞらえて、科学的に整理します。
	営業の感性	提案内容がすばらしくても、この人と仕事をしたい、任せられるとい気持ちを与えることができなければ、相手に受け入れてもらうことはできません。そんな営業活動の土台となる営業の感性について考えます。
	お客さまの情報とは	情報をうまく操ってこそ、確実な意志決定を引き出すことができます。お客さまの情報とは何か、どのようにすれば、それを引き出すことができるのかの実践ノウハウを学びます。
	課題を探る会話術	お客さまの課題とは何か、それをどうすれば見つけることができるのか。その実践ノウハウを会話術の視点から整理します。